

# 正院公民館だより 8月

## 正院公民館の現状 ～7月6日 正院町未来会議より～

7月6日(日)、正院公民館で未来会議と若手ワーキンググループの共催で『未来の正院町に残したい「コミュニティ」と「安全」を考える会』が開催されました。席上、正院公民館の現状を話してほしいという依頼があり、以下にその時の内容をかいつまんで紹介します。

正院公民館の令和7年度5月末現在の利用者のべ人数は約400人。このまま推移すると年間利用者のべ人数は約2,400人(200人/1ヶ月×12ヶ月)となり、最近10年間で最も利用者の多かった平成28年の約10,000人の4分の1となります。

昨年、7月11日まで公民館が避難所だったため、自主教室が再開したのは8月21日の「しらとり読書会」が最初でした。その後、ペタンク・民謡・手芸・俳句教室が順次再開しましたが、開設されている自主教室は地震前の15教室に対して、現在は3分の1の5教室に留まっています。



また、町民体育大会や技芸展など体育的文化的事業の開催は見通しが立たず、正院公民館独自の「健康づくり百点運動」や「百ヶ所巡り運動」も休止したままです。そのほか、いきいきサロンや親子クッキング教室のように作って楽しむという活動は、調理室が使えないため再開できていません。

令和7年度は、公民館活動全体で従来の約4分の1程度の事業を実施する予定です。そうすると利用者のべ人数は、支援団体への貸館や被災地視察による来館者数を加えたとしても、約2,400人から多く見積もって約3,000人となり、最盛期の4分の1から3分の1程度です。

現在の公民館は、基礎部分の損傷が激しいため旧正院保育所へ仮移転が計画されています。ただし、移転時期は未定です。仮移転が本格化するまで現公民館をきれいに保ち、運営していく所存です。やがて町民の皆さまの希望する場所に新たな公民館が建設されることを願いながら。

正院公民館館長 小町 康夫

## 8月の行事・貸館

日	月	火	水	木	金	土						
8月20日頃までペタンク教室はお休みです						1	2	マイスタープログラム				
3	休館日	4	休館日	5	8:30 ナツガク	6	7	8:30 ナツガク 18:30 正院町復興方針 兼湖会	8	8:30 ナツガク 14:00 健康相談	9	9:00 ブルーシー 13:30 ト張り替え 手芸愛好会
10	休館日	11	休館日	12	13:30 民謡	13	14	15	16			
17	休館日	18	休館日	19	13:30 菜の花句会	20	10:00 しらとり	21	13:00 ペタンク 18:00 復興まちづくり (正院小学校)	22	23	13:00 ペタンク 13:00 民生委員会 18:00 夏まつり (旧正院保育所)
24	休館日	25	休館日	26	13:00 ペタンク 13:30 民謡	27	28	13:00 ペタンク	29	14:00 奥野光歌謡 ショー	30	13:00 ペタンク

【復興に向けて】(すべて参加自由)  
**※正院町まちづくりワーキンググループ(若者有志の会)**  
 毎週木曜日 午後7時30分～8時30分 会場 正院公民館研修室  
 30年後の未来を考える若い方は誰でも自由にご参加ください。  
**※いっぷくせん会ね**  
 毎週木曜日 午後1時～3時 会場 第一団地集会所  
 お茶を飲みながら一服、体操、クイズ、歌、健康チェックなど

### 薬剤師健康相談会 ～お茶会と健康相談会を開催します～

8/8

(金)

場所 正院公民館  
 時間 午後2時～  
 持ち物 お薬手帳やお薬説明書など  
 主催 珠洲市総合病院・ピースウィンズ・ジャパン  
 お問い合わせ:0847-79-5801(ピースウィンズ)

お気軽にご相談ください。



### 全町民の皆さまへ

8/7

(木)

正院町  
復興方針案説明会

時間 午後6時30分～  
 場所 正院公民館  
 主催 未来会議・WG

### 全町民の皆さまへ

8/21

(木)

復興まちづくりに関する  
正院地区説明会

時間 午後6時～  
 場所 正院小学校体育館  
 主催 珠洲市役所

### 夏まつり

8/23

(土)



時間 午後6時～  
 場所 旧正院保育所  
 主催 未来会議・WG

8/29 (金)

仮設の歌姫ライブ  
 場所 正院公民館講堂  
 時間 午後2時～  
 一緒に楽しみましょう!



# 第 3 回 —夏休み学習会—

## ナ ツ ガ ク



—昨年からはじめた夏休み学習、通称「ナツガク」の第3回目が始まりました。初日の7月23日(水)、小学1年～中学2年生の12人が参加。小町館長の『学びの場は学校に限らない』という理念のもと始まったナツガク。小中学生が学習や読み聞かせなどを通して、地域の方々と交流を楽しみました。

昨年は地震のため正院町第1団地集会所にて開催、第3回目は今年は公民館で7月23～25日、8月は5,7,8日の予定で行います。

初日のものづくりは、「ピコピコペンギン」を作りました。最後は、全員でペンギンを動かして遊びました。



### まちづくりの拠点としての公民館—正院公民館の歩み—

これからの公民館を考えるうえで、これまでの正院公民館の歩みを振り返っておくことは大切なことです。終戦直後、戦争で荒廃したふるさとを町民総がかりで立て直す拠点として、公民館の設置が全国的に指導奨励されました。石川県では、昭和21年に県内各地に七つの公民館が設置されました。その中の一つが**正院公民館**でした。柔軟に対応できる**文化的な風土**が正院町にあった証拠だと思います。

当時、公民館設置に尽力した文部官僚の寺中作雄(てらなかさくお)氏は公民館の機能を5つ掲げています。「第1に公民館は社会教育機関である。第2に公民館は社交娯楽機関である。第3に公民館は町村自治振興の機関である。第4に公民館は産業振興の機関でもある。第5に公民館は新しい時代に処すべき青年の育成にもっとも関心を持つ機関である。」この考えは寺中構想と呼ばれ、公民館の設置を後押ししました。

その後、時代の荒波に洗われ公民館の機能も変化してきましたが、震災で荒廃したふるさとを町民総がかりで立て直すまちづくりの拠点として、今こそ「つどう・まなぶ・むすぶ」という機能を最大限に発揮する必要があります。「温故知新」につながることを願って正院公民館の歩みをかんたんに紹介します。

年代	正院公民館の歩み
昭 21.12.10 (79年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正院中学校の建物内に珠洲郡正院町立正院公民館が併置される</li> <li>※石川県に開館した七館のうちの一館</li> </ul>
昭 24.6.10 (76年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正院町役場の建物内に正院公民館が併置される</li> <li>飯塚小学校に正院公民館飯塚分館が併置される</li> </ul> 
昭 29.7.15 (71年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正院町役場に珠洲市立中央公民館と正院公民館が併置される</li> <li>※昭和29年7月15日に珠洲市制が発足する(合わせて26町)</li> </ul>
昭 36.6.19 (64年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正院町に珠洲市立中央公民館が建てられる(鉄筋コンクリート2階建てで茶色のツートンカラーの外壁)</li> <li>正院公民館は建物内に併置される</li> </ul> 
昭 49.8 (51年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>珠洲市立中央公民館が飯田町に移転し2階建ての建物は正院公民館として独立館となる</li> </ul>
昭 53.3.26 (47年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の裏手に結婚式場が増築される。生活改善運動の一環として昭和40年代から50年代にかけて「公民館結婚式」がさかんに行われる</li> </ul>
昭 57.7.15 (43年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯塚小統合のために飯塚分館が珠洲市農協三和支所に併置される</li> </ul>
平 14.3.31 4.1 6.28 (23年前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯塚分館が廃止される</li> <li>現在の公民館が新築される</li> <li>公民館の新築を祝って記念誌「飯川」(ままがわ)が発刊される</li> <li>昭和36年に建てられた2階建ての本館と屋外の物置が解体される</li> </ul>
令 7.3.14 (現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚式場が解体される</li> </ul>

### 公民館周辺の除草作業の協力依頼

第2回除草作業を下記のとおり行いますので、よろしくお願いいたします。

日 時 9月7日(日)午前6時～

場 所 公民館周辺

集合場所 公民館玄関前

予告